学校番号	2004

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学基礎発展	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	化学基礎 academia（実教出版）						
副教材等	ニューステップアップ　化学基礎　（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することをめざす。（1）自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，現象などに関する技能を身に付けるようにする。（2）観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。（3）自然の事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

2　学習の到達目標

物質とその変化に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することをめざす。（1）日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。（2）観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。（3）物質とその変化に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	物質とその変化について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。また，物質とその変化に関する観察，実験などを行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身につけている。	物質とその変化の中に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心をもち，意欲的に探究しようとするとともに，科学的な見方や考え方を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	物質の構成	1節　物質の探究 2節　物質の構成粒子	a 物質の構成粒子や量的関係に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身につけている。 a 熱運動と物質の三態との関係から，代表的な物質について，常温，常圧での状態を理解し，知識として身につけている。 b 実験において，質量や体積などの定量的な測定方法の技能が習得できているとともに，実験の測定結果から量的関係を的確に表現できる。 c 物質の状態に関して観察，実験を行い，それらに関する技能を習得し，それらの測定結果から物質の状態について考察できる。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート レポート	レポート 提出ノート
	物質と化学結合	1節　イオン結合 2節　共有結合と分子間力	a 物質の構成粒子の違いによる結合・結晶の差異を，代表的な物質から具体的に理解し，知識を身につけている。 a 物質は結合の違いによって性質に違いがあり，区別できることを理解している。 b 化学結合に関する観察，実験の操作や記録などの技能が習得でき，その結果より結論を表現できる。 c それぞれの物質の，結合による性質の違いを利用し，物質を見わける操作方法について判断することができる。	定期考査 レポート	定期考査 レポート	レポート 提出ノート

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	物質の変化	1節　物質量と化学反応式 2節　酸と塩基	a 物質の構成粒子や量的関係に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身につけている。 a 熱運動と物質の三態との関係から，代表的な物質について，常温，常圧での状態を理解し，知識として身につけている。 b 実験において，質量や体積などの定量的な測定方法の技能が習得できているとともに，実験の測定結果から量的関係を的確に表現できる。 c 物質の状態に関して観察，実験を行い，それらに関する技能を習得し，それらの測定結果から物質の状態について考察できる。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	 レポート 提出ノート
		3節　酸化還元反応	a 電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を理解し，知識を身につけている。 b 酸化・還元の定義を理解し，日常生活と関連づけて酸化還元反応を捉えることができる。 b 代表的な酸化剤,還元剤の観察,実験の報告書を作成する中で，電子の授受としての規則性を見いだし，自らの考えで表現することができる。 c 金属のイオン化傾向とそれによる反応性の違いを理解している。	小テスト レポート 探究発表	小テスト レポート 探究発表	 レポート 探究発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度